

2022年度 地域の課題解決プロボノプロジェクト

地域の課題解決 入門講座 開催レポート

2022年7月20日

認定 NPO 法人サービスグラント

1. はじめに

町会・自治会は地域住民の互助のシステムとして中核的な役割を担っていますが、同時に高齢化や加入率の低下等様々な問題を抱えていると言われていています。一方で、「いろんな世代が集えるような場づくりに取り組みたい」、「新しく引っ越してきた人も気軽に関われるようなまちにしたい」など、顔の見える繋がりづくりや、幅広い住民の関わるまちづくりに取り組む町会・自治会もあります。

地域の課題解決に向けて積極的にチャレンジを行う町会・自治会を対象に、仕事の経験やスキルを活かした社会貢献活動「プロボノ」で会の活動基盤強化を支援する『2022年度 地域の課題解決プロボノプロジェクト』の実施にあたり、入門講座を実施しました。

支援内容の説明に加え、自団体の課題の棚卸しと整理を行う「課題整理ワークショップ」または過去支援先の事例紹介を同時開催し、支援の具体的なイメージをお持ちいただくことで2022年度の支援申込につなぐことを目指しました。

また、オンライン開催にあたっては、事前に遠隔ビデオ会議ツール「Zoom (ズーム)」の使用方法に関する Zoom 勉強会を実施し、オンライン会議に不安のある参加者が接続操作の事前確認ができる場を設けました。

2. 実施概要

○開催日時と開催場所

- ・ 第1回 2022年 6月9日(木) 10:00-12:00 (9:30アクセス開始)
【申込締切：5月30日 (月)】
オンライン (Zoom) 開催
- ・ 第2回 2022年 6月23日(木) 10:00-12:00 (9:30アクセス開始)
【申込締切：6月13日 (月)】
オンライン (Zoom) 開催
- ・ 第3回 2022年 7月7日(木) 10:00-11:30 (9:45開場)
【申込締切：6月27日 (月)】
会場開催：新宿NSビル 3階 3-H会議室 (新宿区西新宿2丁目4番1号)

<事前Zoom勉強会>

- ・ 第1回 2022年6月6日(月) 10:00-11:30
- ・ 第2回 2022年6月20日(月) 10:00-11:30

いずれもオンライン (Zoom) 開催にて接続確認を実施

○各回定員：20団体 (1団体あたり2名まで)

○開催スケジュールとプログラム内容

・オンライン開催

内容	時間
1. 本日の流れ、開会挨拶	5分
2. 地域の課題解決プロボノプロジェクトについて (質疑応答含む)	55分
3. 休憩	5分
4. 課題整理ワークショップ	55分
5. まとめ、閉会	5分

・会場開催

内容	時間
1. 本日の流れ、開会挨拶	5分
2. 地域の課題解決プロボノプロジェクトについて (質疑応答含む)	45分
3. ゲストトーク①	15分
4. ゲストトーク②	15分
5. ゲストへの質疑応答、まとめ、閉会	10分

○事前の告知方法

- ・ 区市町村担当窓口を通じたチラシ配布
- ・ サービスグラントを通じた過去イベント申込者宛のメール配信

○応募の受付方法

- ・ サービスグラント宛に所定の申込用紙をメール、FAX、またはフォームにて申し込み

3. 参加人数

	団体数		人数		
	申込	参加	申込	参加**	
6月9日(水)	14	14	17	17	(6)
6月26日(土)	16	15	18	17	(6)
7月7日(水)	19	14	24	18	(-)
合計	49	43	59	52	(12)

*参加人数欄 () : 事前 Zoom 勉強会参加人数

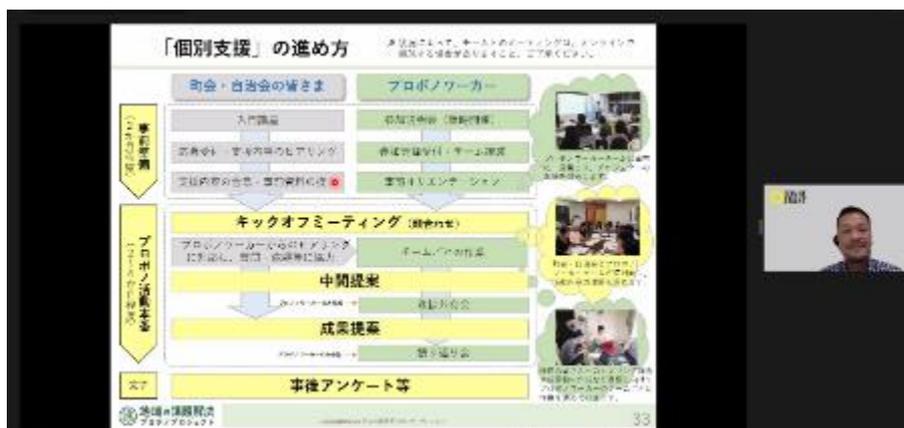
4. 当日の流れ

○地域の課題解決プロボノプロジェクトについて

プロボノの語源から本プロジェクトの概要、支援内容、支援申し込みの流れまでを参加町会の皆様に説明しました。

【写真】地域の課題解決プロボノプロジェクトについての説明

- ・オンライン開催



- ・会場開催



○課題整理ワークショップ（オンライン開催回のみ実施）

ワークショップの目的や進め方を説明したのち、ファシリテーターの案内のもと、町会・自治会の皆さまが運営に関する課題を挙げ整理しました。

・課題整理ワークショップの目的

団体が抱える課題の中にはプロボノによる支援が適切なものやそうでないものがあります。また、様々な課題を抱える中で課題解決の優先順位を団体がつけにくい場合があります。そのため、プロボノの支援を受ける前に、支援に関心のある団体を対象にワークショップを行いました。

プロボノによる支援が可能な自団体の課題は何か検討することで、プロボノによる支援を受ける準備を整えることが本ワークショップの目的です。

・課題整理ワークショップの全体構成

ワーク① 組織課題の棚卸・整理

- ステップ1 課題の棚卸
- ステップ2 中長期的な目標の設定
- ステップ3 課題の整理

ワーク② 組織課題の解決策の検討

- ステップ4 「重要度が高い」課題の解決策の考案
- ステップ5 「重要度が高い」課題の解決策の分類
- ステップ6 結果の共有

・ワークショップの内容

※A4サイズで印刷し、「西暦・自治会名」「1」を印刷してください。印刷後、お手持ちの課題を記入してください。

町会・自治会名 () ワークシート1

1. この内容の町会・自治会が、町会・自治会として取り組むべき課題を整理し、課題を整理するための「課題の棚卸」を行います。課題を整理するための「1」を行います。1～2枚印刷。

※1. 町会の課題の棚卸は、町会・自治会として取り組むべき課題を整理するための「1」を行います。1～2枚印刷。

※2. 町会の課題の棚卸は、町会・自治会として取り組むべき課題を整理するための「1」を行います。1～2枚印刷。

課題番号	課題内容	優先度	重要度
例	災害時の備品不足を解消するための対策	○	○
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			

課題整理ワークショップでは、ワークシートを使用します。ワークシートは団体ごとに事前に準備しました。団体として困っていることや解決したいことなどの課題をワークシートに記入します。こうすることにより、漠然としていた課題や、日々の業務によって忙殺されていた悩みが整理・棚卸されるとともに、課題が可視化されることによって、解決策の検討に進むことができます。

次に、団体の「こんな町会・自治会の姿がよいのではないか」という中長期的な目標を箇条書きで記入します。具体的な目標を記入することにより、多くの課題の中から闇雲に取り組むのではなく、どの課題解決から着手する必要があるか、緊急度と重要度の四象限の中で優先順位を検討することができます。また、重要度の高い課題について「それぞれに、どのような解決策が考えられるか」「全体として、どのような解決策が有効と考えられるか」を、書き出しました。

※A4サイズで印刷し、お手持ちの課題を記入してください。

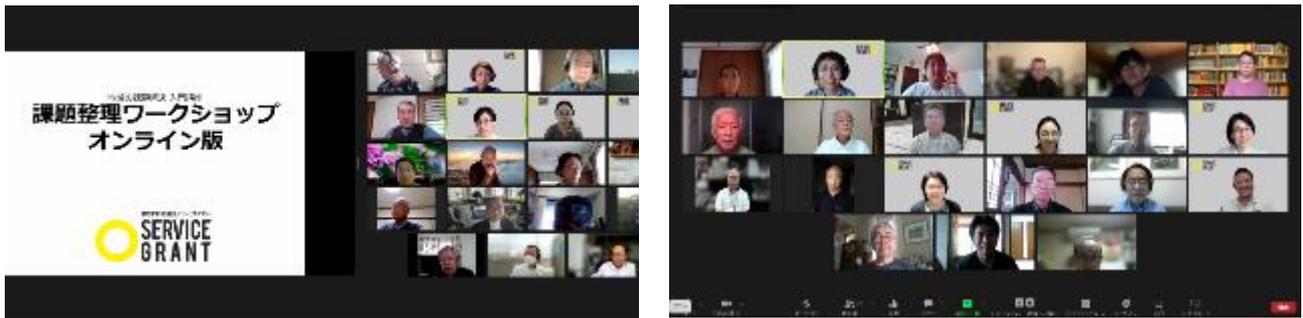
町会・自治会名 () ワークシート2

課題番号	課題内容	解決策の分類	備考
例 2	高齢者の生活支援を促進するためのイベント開催		

さらに、書き出した課題の解決策について

「自前で解決できること」「自前では解決できないけど、「お金」があれば解決できること」「自前では解決できないけど、「スキル」があれば解決できること」に分類しました。分類ごとに色分けしたシールを貼ることで、重要度の高い課題とその解決策、解決にあたって必要となるリソースやプロボノ活用の可能性が明確になりました。

【写真】 課題整理ワークショップの様子



○プロボノ活用事例紹介（会場開催回のみ）

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、会場開催回のみ、課題整理ワークショップに代えて活用事例紹介を実施しました。

過年度の「地域の課題解決プロボノプロジェクト」においてプロボノによる支援を活用した経験のある団体の代表者をゲストにお呼びして、プロジェクトの様子やそこから得たもの、現在の活動に与えた変化などを伺いました。

ゲスト

- ・ 烏山上町会（世田谷区）地域推進対策部副部長・HP 担当
芝澤 光英氏：2021 年度実践講座参加（ホームページ）
- ・ 公団住宅むつみ台団地自治会（練馬区）事務局長
市川 久雄 氏：2021 年度個別支援参加

【写真】 ゲストトークの様子



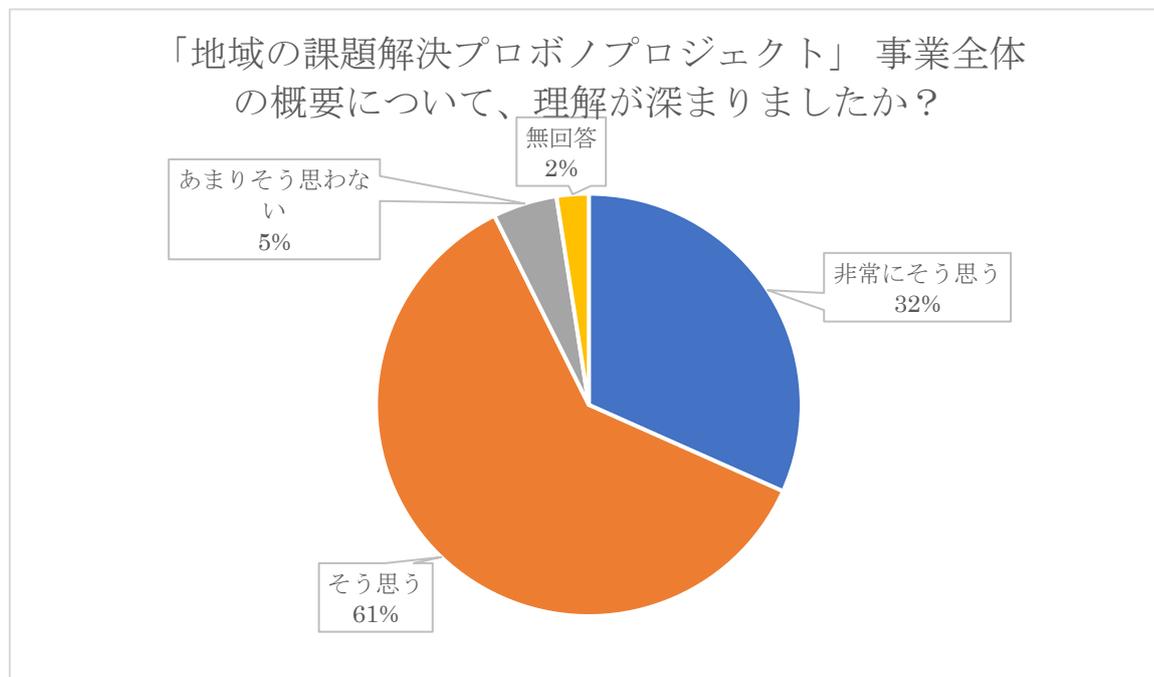
5. 参加者アンケート

○件数

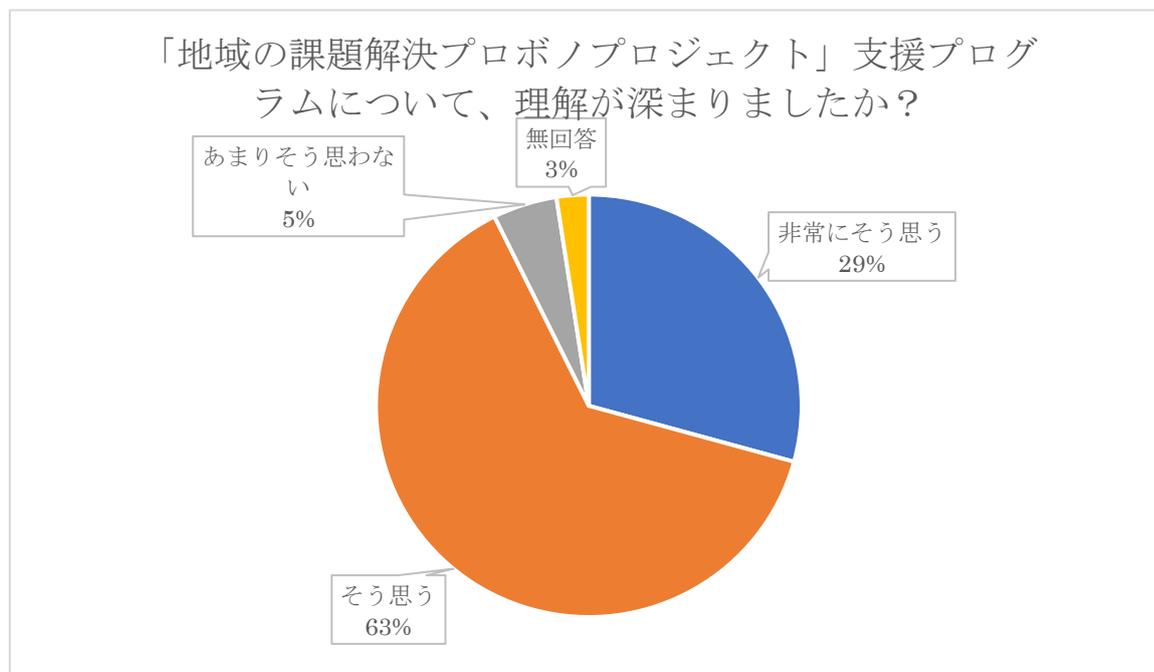
回答数 41名（回収率 78.8%）

○結果

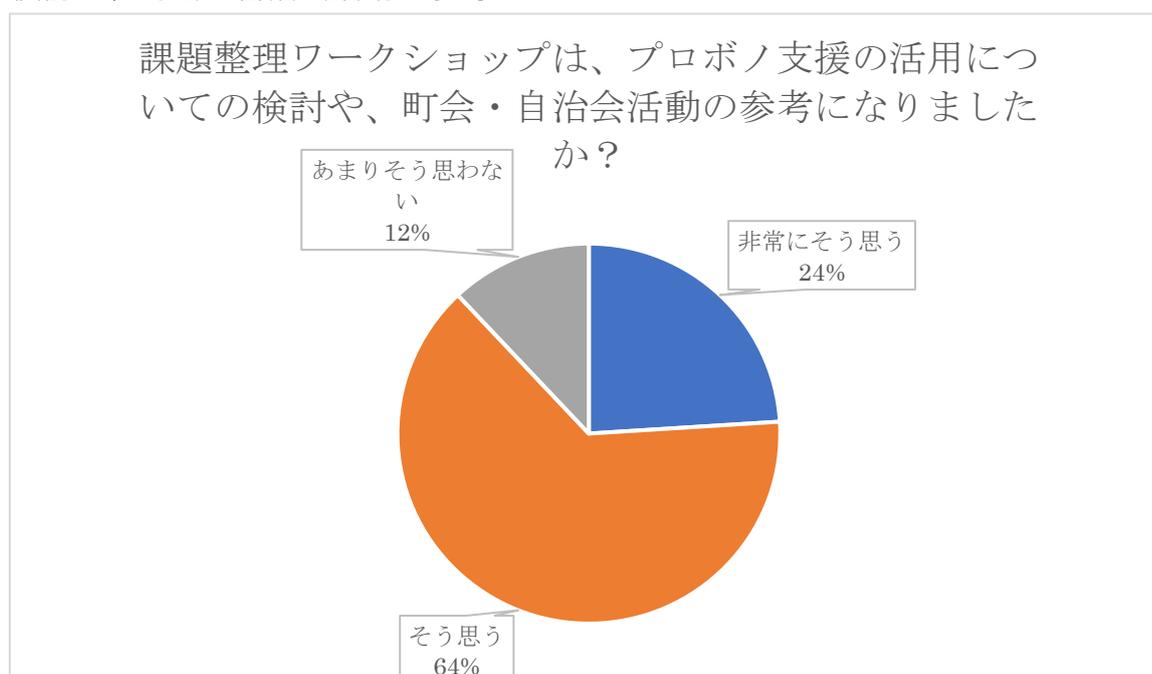
Q: 「事業全体概要」の説明内容について理解が深まりましたか？



Q: 「支援プログラム」の説明内容について理解が深まりましたか？



Q: (オンライン開催回のみ) 課題整理ワークショップは、プロボノ支援の活用についての検討や、町会・自治会活動の参考になりましたか？



Q: (オンライン開催回のみ) 今回の課題整理ワークショップを通じて、新しい発見やあらためて気づいたこと・確認できたことなどは何かありましたか？

- ・ 相談できる場を知った事は有り難いです。
- ・ 他の町会・自治会の方も同様の悩みを抱えながら運営していることが分かり、ほっとしました。
- ・ 町内会や自治会に関心をもっと地域で活発になると良いと改めて感じました。
- ・ 有償ボランティアや会長行動費等、他町会の考え方や対応に共感するものがありました。
- ・ 参加された他の町会・自治会も、高齢者が多く SNS に関して理解し構築や運用に悩まれていることが分かった。今回のプログラムでワークシート 1 の課題検証や解決の分散討議は範囲が広すぎ時間が短すぎた。気付いた事は、HP 作成構築の為と理解出来ました。
- ・ まずは今回有意義なお時間を頂いた事に感謝申し上げます。ワークショップ等で他の自治体の方の悩みや意見が聞けました事は、一番の収穫でした。本当にありがとうございました。
- ・ 他の自治会でも同じような課題があることが確認できた。
- ・ 自治会の問題は整理と見える化をした考慮が必要である事を再確認した。
- ・ 役員のなり手がいない、加入率が低い、防災の悩みなど共通の課題と確認できました。
- ・ 既存の会員向けの情報伝達、事務の効率化には、ある程度効果が期待できるが、献身的な会員がいなければ、持続するのは難しいと考える。
- ・ 町会の運営をしていく上で、ZOOM を取り入れるなどの検討をしなければならないと思った。若い役員を育成しないとどんどん後れをとってしまう。
- ・ 町会内での情報発信をどんな形でしていくのか模索していましたが、方向性が見えて来たように思っています。一町会の情報発信が内外の多くの人にも伝わることによって、地域での活動のすがたが地域に広く浸透していくように考えるようになった。ホームページ等を立ち上げて、運営、維持管理、継続をしていくことに、負担が大きいこと、担当スタッフがない現状を考えると不安はあるが、まず立ちあげて当町会の組織の中に情報発信ができるものを創りスタートしようとする意向が固まった。

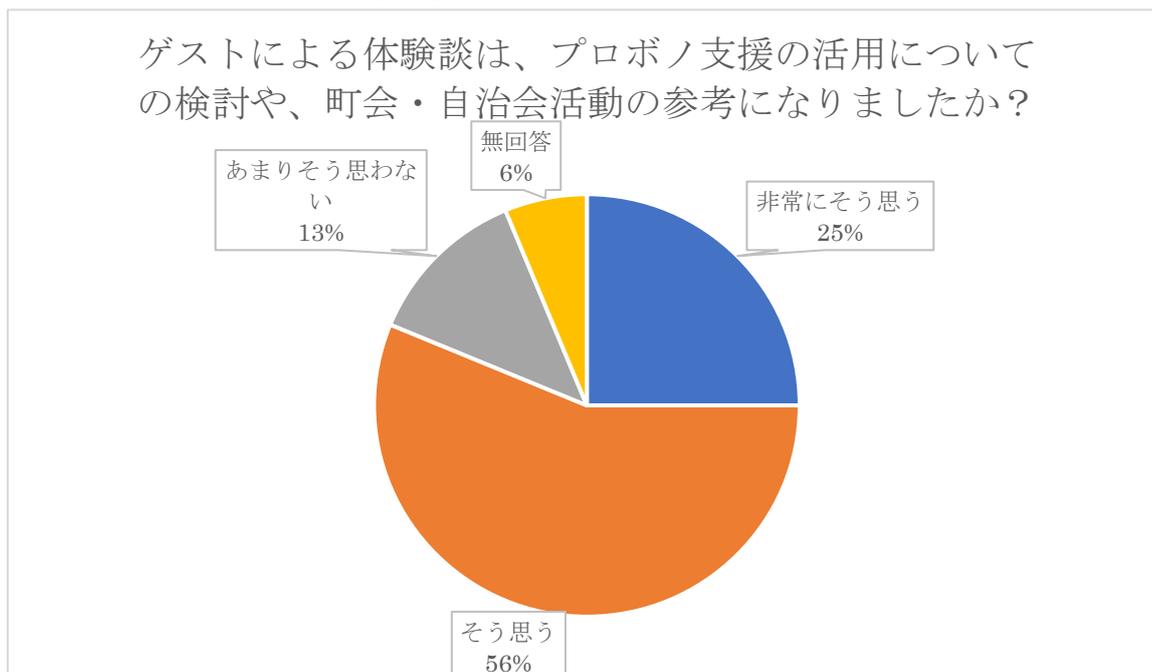
- ・ どの自治会も課題は共通しているようだが、私共の場合は未来への方向性をもって具体的な策を一つ一つ実現していこうとする組織的な行動力が求められているのだと思った。組織の内部では課題意識を持っていても従来からの人間関係と既存の事業の継続から抜け出せないでいる。あえて変化を求めようとしない自治会の体質ではあるが今回のように外部評価を基にした伴走型の実践ならば変化が期待できると思った。
- ・ 自分たちの思い込みとは違った他者の意見も聞けて今後の活動意欲の後押しになった。
- ・ 現在、小田急いちのいちを始めたところです。これで皆さんの意見を伺い、情報が SNS では十分で無いとのことであれば、HP を立ち上げたいと考えております。
- ・ 町会ごとに悩みはそれぞれあること、また、共通する課題もあることが分かりました。また他町会の方からの意見や、ファシリテーターの女性の意見も参考になりました。

Q: (オンライン開催回のみ) 今回の課題整理ワークショップを通じて、特にプロボノのような外部の力を活用して解決したいと思ったことは何かありましたか？自由にご記入ください。

- ・ 外国人対策の相談にのっていただきたいです
- ・ FB をやっているが、更に情報発信で関心を集めたい。
- ・ ホームページ等のコミュニケーションツールを自治会内に定着させ、情報の双方向化を実現し人との繋がりを再構築したいと考えています。
- ・ 組織の立て直しです。高齢化や人員不足等、どこも共通の課題だと思いますが、特に今回は災害を想定した「避難所開設と運営」というテーマで個別支援を受けたいと思います。
- ・ 当自治会でも、今期すでに計画に入れております「高齢者向けのスマホ教室」のような個々の会員様に向けてのレクチャーの開催は非常に有難く思います。
- ・ 会員減少対策について方策を模索しているが連合会、単位自治会においても具体的な対策がない。過去のプロボノの事例研究から始めようと考えている。
- ・ 地域コミュニティの活性化や防災を考えると、自治会ホームページや自治会 SNS のニーズは非常に大きい。本来、自治体が提供すべき機能で、行政 DX の成果物として是非検討していただきたい、と思う。私たちの自治会では、ホームページ作成や FACEBOOK、LINE の利用も考えたことがあるが、メンテナンスが発生するため、イベントへの参加者が少ないことや役員の調達に困っている当自治会では実行は難しかった。現在、小田急電鉄が世田谷区などに提供している「いちのいち」を試験導入し、小平市に他の自治会にも勧めるように提案している。プロボノも、アプリケーションクラウドの提供を選択肢に加えていただけると検討できると思う。「いちのいち」は最新の仕組みではないが、自治会で必要な機能はほぼ満たしている。当自治会には、「作成支援」よりも、「作成しないで運用するだけ」のほうが、ありがたい。
- ・ 1, SNS 等を利用した情報発信 2, 若い子育て世代との交流・絆 3, 後継問題
- ・ 自治会運営と防災対策立案実施の支援
- ・ 会員数を増やすための効率的な方法を教えて欲しい。大規模な自治会活動をすると後継者が減るといふ課題が生じる。
- ・ ホームページ等を立ち上げるにあたって、町会役員のみなさんと、運営、管理、維持継続などを相談して進めることは難しい面があります。費用がほとんどかからず、役員に負担がかからずに予備知識がなくても外部の力（プロボノ）を活用してできるのなら、是非挑戦してみようと思います。当町会内での現状は、参加協力者がいないので会長である光田が一人で参加予定です。

- ・今回は「フェイスブックの作成活用」を基に自治会の組織課題やこれからのあるべき方向性を客観的に評価していただくことができるのではないかと考えた。普段から自治会は既存の事業の継承が中心になっていて新しいことや他の団体の活動を参考にして改善を図っていく姿勢が乏しい。多様な考え方で本自治会を観ていただき新しい展望が見いだしていく取り組みをしてみたい。
- ・プロボノの人達の経験や能力によると思うが IT を使った企画や計画化とその実現に強いというだけでは、解決は難しいと思う。
- ・現在は特に必要ない。
- ・何よりも ZOOM がわかったことが良かった。新しいことは外部の力が大切だと思う。
- ・衰弱化していく 21 世紀の長屋気質（都心の町会活動）
- ・元々の居住者の高齢化と減少で町会運営をする人が少なくなっている現状の解決や、情報を知らない町会員の企業の社員の方々に活動に参加して貰える道筋を外部スタッフのアドバイスなどで解決出来ればと思います。
- ・プロボノの大まかな内容はある程度把握できたが、外部の力をどのように活用して解決できるかについては若干疑問が残った。

Q: （会場開催回のみ）ゲストによる体験談は、プロボノ支援の活用についての検討や、町会・自治会活動の参考になりましたか？



Q: （会場開催回のみ）ゲストによる体験談をお聞きになって、新しい発見やあらためて気づいたこと・確認できたことなどは何かありましたか？ 自由にご記入ください。

- ・どの町会も悩みは同じだなと感じた
- ・第三者による提案、アドバイスの必要を痛切に感じました。
- ・HP は必要だと思った。
- ・HP をどのように広めてゆくか、その方法。
- ・防災対策は参考になった
- ・参考になりました。当町会でも、行政のパンフレット等を活用していきたい。
- ・どちらも世帯数が多く、加入率は低めであった。自分たちだけではないと思った。また、第三者の意

見が大事という事も印象に残った。

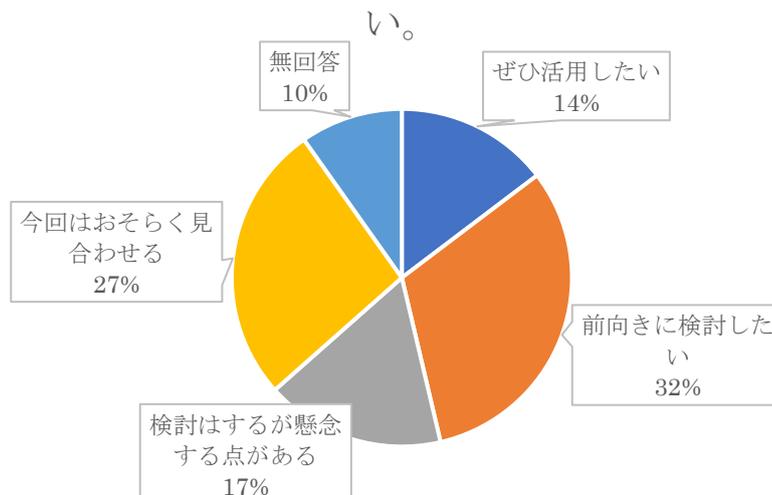
- ・ 包み隠さずのご意見で解りやすく良かった。世田谷区の地域はとても広く大変だろうなと感じました。
- ・ HP に地域の歴史を載せると興味を引きそう HP と並行して、独自の広報誌を定期的に出すと良さそう。その場合、地域の課題を決めると続けやすそう。・私どもの町会は、ほぼ 5 人の役員が動かしてしまっている。何とか役員を増やして、アイデアや行動力を増したい。
- ・ 具体的な活動事例がもう少しほしかった（町会活動の内容が片寄っていた。）
- ・

Q: （会場開催回のみ）ゲストによる体験談をお聞きになって、特にプロボノのような外部の力を活用して解決したいと思ったことは何かありましたか？ 自由にご記入ください。

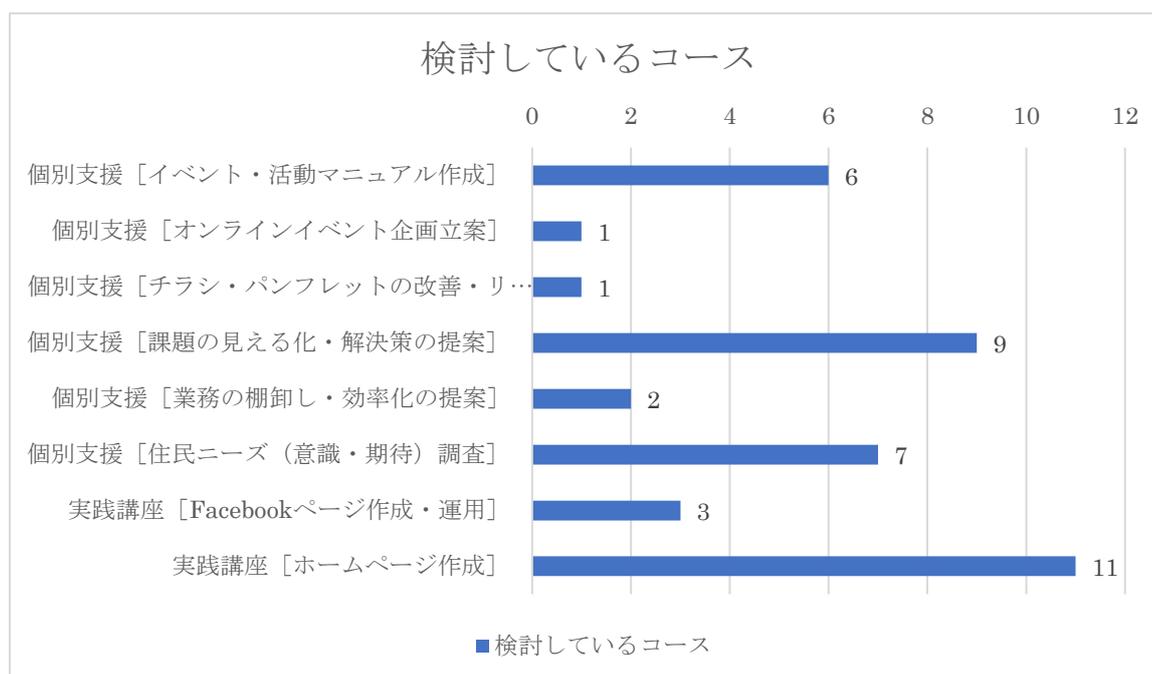
- ・ 住民のニーズを知りたい。・ 回覧板に HP の QR コードを載せる。・ 学校に HP の存在と閲覧を依頼する。
- ・ 当町会では、今のところ回覧板で対応したいと思うが、チラシ等の参考になるのを知りたい。
- ・ 自治会活動は「人」「熱意」が大切であると改めて思った。
- ・ 個別支援を受けたいと思いますが、現在町会としての意思がまとまっておりません。特に受講後の担い手の問題の解決が要。
- ・ 町会に持ち帰り検討したい
- ・ 役員数自体が少なくて難しい

Q: 説明をお聞きになり、プロボノ支援を活用したいと思いましたが？

支援プログラムについてお伺いします。説明をお聞きになり、今後、支援プログラムを活用したいと思いましたが？ 当てはまるものにチェックをつけてください。



Q: 「ぜひ活用したい」「前向きに検討したい」を選んだ方に伺います。検討されているコースはどちらでしょうか？（複数回答可）



Q: 「検討はするが懸念する点がある」「今回はおそらく見合わせる」を選んだ方に伺います。その内容や理由をお聞かせください。

- ・ 問題解決が可能かどうか 今一度検討したい。
- ・ 現役員が少ない中、役割を精一杯こなしている、プロボノが目指す内容を理解しても実践する人的余裕は困難と思う
- ・ まだ SNS に対応できる人材やスキルが不足している、小生を含めまだまだに感じて居ります。ヤル気の有る人材が見つければ再トライを試みます。
- ・ まだ、町会内でコンセンサスが取れていないため、判断出来ないが自分は前向きに考えています。
- ・ 町会側の担当者が一人。担当者が実践講座の日程に参加できないため。
- ・ 役員の問題意識の共有と担い手
- ・ 会員数 27 世帯で費用の持ち出しが難しいと思います。今は HP を立ち上げることは難しいと思っています。
- ・ 役員、スタッフとの意見調整が必要である。
- ・ 会長とよく意思疎通を図りたい。しばらく時間がかかりそうです。
- ・ まだ、町会全体のコンセンサス・情報の共有化が間に合っていない為、判断できない。
- ・ 昨年は別の担当者が参加させて頂き、内容を持ち帰った結果、前々から計画はあったものの進んでいなかった自力でのホームページの立ち上げや防犯意識に対する見直しと後押しへと繋がりました。おかげ様で回覧のデジタル化、防犯カメラの設置もすでに筋道を立て動き出しております。今回参加させて頂いた中で、一番興味を持ちましたのは、個別支援の住民ニーズ調査でした。ただ一度当自治会内で、まずは自力で考え、現在出来たばかりのホームページや回覧を使いながら試せないだろうかと考えました。今期は色々と試行錯誤する中で、進捗度や達成度をチェックし、結果を見て、来年以降またこのプロジェクトのお力を借りる方がより理解も深まるのではと考えました。参加させて頂く時

期が来ましたら、その時はどうぞよろしく願いいたします。

- ・ スキルが必要ない施策を選択したい。
- ・ そもそもこのようなセッションをやることの優先度が高いという認識がもてなかった。せめて役員レベルにこれを持たせないと皆を引っ張ってはいけない。HP や IT ツールを使い何かやるぞ、というレベルでは無理。
- ・ 問題の整理から。
- ・ 会員数の増加という課題解決にあまり効果が期待できないから。
- ・ 入門講座の後、自治会の本部役員で意見交換をもった。伴走型でフェイスブックを作成、活用しながら自治会の課題をクリアしていく活動に対しては十分な共通理解に至らなかった。自治会全体としての取り組みにしていくには今少し外部の力を活用することについて議論が必要だと判断した。
- ・ 現在、小田急いちのいちを始めたところです。これで皆さんの意見を伺い、情報が SNS では十分で無いとのことであれば、HP を立ち上げたいと考えております。
- ・ 別なデジタルの取り組みをする。
- ・ HP を立ち上げるのが目的でなく、町会活動をどう充実させるかが課題です。当面は行政台東区と相談し、助成を受けた上で活性化を図るつもりです。

Q: その他、現在、関心をお持ちの支援内容があればご記入ください。

- ・ 防災対策と外国人対策
- ・ HP の開始、法人格の取得。
- ・ 災害対策の進め方
- ・ 町会における「広報活動」です。定期的な「町会ニュース」の作成、紙面の作り方の基本、写真の活用等。また、ホームページでは動画配信等、活動の「見える化」を強化したい。
- ・ 地震などの発災時停電時、直後、時間経過後でたよりになる通信手段の優先順位は何か。(防災組織内安否確認の手段) LINE メッセージ、LINE 電話、スマホメール、スマホ電話、固定電話、トランシーバ、訪問声掛け
- ・ 町会、自治会役員へのインセンティブ、たとえば都営施設の無料入場券などが毎年あれば、役員のなりてが増えるかも。
- ・ 催事の実施にあたって、参加準備に協力スタッフはいるが、会の運営を担う次世代後継者かないこと。大規模災害時の町会活動の在り方。
- ・ 自治会エリアから商店街が消えようとしている。また、集合住宅が増えたり若い層の住民が転居して来たりしている。従来環境が大きく変わろうとしている今、自治会の存在が形になって見える、感じられる環境づくりを進めたい。コロナ禍が続いたことで zoom を活用した会合へ転換した。更にハイブリット形式にして参加形態の多様化を進めているが本当にこれでよいのか迷うこともある。多様な人たちが意思疎通を図ることができる形を探っている。
- ・ ズバリ、地域の底力発展事業助成です。
- ・ 町会の役割、入会したいと思わせる町会の在り方
- ・ 活かせる助成金を使って町会を盛り上げたい
- ・ ・ イベント（芸術）開催・町会のロゴやキャラクターづくり→8 つの町会の集まりで統一感を持たせたい・防災対策普及啓発事業助成
- ・ 防災について自治体からの助成が得られればと思っています。
- ・ HP 作成する中で、一日のイベントを上手にまとめて見やすくする技術の向上をするための講座が欲

しい。

- ・ デジタルデバイスの取組み
- ・ 住民ニーズ、とくにマンション居住者の入会率が低いため、町会活動のテーマを考えたい。
- ・ 近隣の町会と共同主催で「マンション交流会（脳トレ交流会）」の開催

○本事業について質問や相談事項、ご意見やコメント等（アンケートより一部抜粋）

- ・ 会員数 27 世帯で、この会で顧客満足度を図ることが第一の課題なので、そのために防災にかかることを第一にと考えています。ありがとうございます。今回参加させていただきありがとうございます。
- ・ 毎回、自分の町会での活動が他の団体様と比較してどうなのか？自分自身に対し質疑応答をしています。私自身への勉強会です。町会の方向性を考えます。
- ・ HP ではなく、メルマガ配信のサポート事例の有無
- ・ 役員会に参加いただき、現状を知っていただきたいです
- ・ 実践的に討議してゆきたい。
- ・ 本来は実践講座と個別支援を同時に受けて少しでも自治会の活性化を図りたいと思っておりますが、無理のようなので今年度はホームページ作りにも力を入れることになると思います。
- ・ 地域の町内会の他に住んでいるマンション独自でも自主組織を立ち上げています。100 世帯くらいの規模なのですが、そのような組織での実績などがあれば教えてもらいたいです。
- ・ 自治会、町内会が存在することを期待するのはいいとして、基本的にこういうことをやらしてもらわないと公共側の責任が果たせない、ということを確認にする、そういう意識レベルの指導をしてほしい。ボランティア組織として期待するというだけでは今の社会的傾向ではあってもなくても何もしくなくても誰も困らないし、その時限りの行動しかしない。
- ・ ホームページを立ち上げた後の、運営、維持管理等の事例、問題点を知りたい。
- ・ 専門的で客観的なフォロワーが伴走してくださる「課題解決への取り組み」には魅力を感じます。今回は自治会内で意思一致に至りませんでした。内部で議論する機会ができたことをプラスに考えています。場を設定し道筋を示していただいたご担当の皆様のご期待にお応えすることができず心苦しく思っています。入門期まで導いてくださったことに感謝申し上げます。
- ・ ホームページに関してですが、ZOOM 会議後に、参加された皆様の事例を拝見させて頂きました。そこで感じましたのは、皆様、大変上手く作っていらっしゃいますが、現在の自治活動がコンテンツに反映されているのか、今後支援の方々からのサポートを離れても上手く活用して発信できるのか、各自治体に差がある様に感じました。各自治体において、今後改善しながら継続していく事が何より重要だと思いますので、最初のきっかけを与える今回のような支援プログラムにプラスして、1、2 度参加された方が再び数年後にブラッシュアップするための講座も今後ご検討頂けると、おそらくもっと盛り上がるのではないかと感じました。
- ・ 色々とお世話になりありがとうございます。来年以降もこのような講座が引き継ぎ行われることを期待します。Zoom のホスト勉強会も企画していただければありがたいです。なお、今回は「入門講座」でしたが、ほかの講座もあれば、教えてください。宜しくお願いいたします。
- ・ 是非活用したいと思っておりますが、地域の町内会の役員をどのように説得するかが課題です。（高齢者の役員が多く、高齢者のコミュニティの場になっているため。）
- ・ 個人的には少し興味が有って参加させて頂きましたが理解が行き届きませんでした。又、こんかいのプロボノは東京都が主体の様ですが、昨日地元の世田谷区は小田急電鉄との共同企画で「町会・自治会 SNS 概要説明会」「いちのいち」なる物も実施されており参加しましたが何か、今回のプロジェク

トと方向は同じの様な気がして迷ってしまいました。

- ホームページを立ち上げるにしても、それを継続して管理できる人材を発掘することが先決のように思われる。
- 2020年度の実践講座に参加して、HP作成に取組、HPは断念しました。その後別の取組みに進みました。そのきっかけが出来ました。

以上